

公益社団法人 日本コンクリート工学会 東北支部
平成 27 年度通常総会議事及び行事次第

期日 : 平成 27 年 5 月 20 日 (水)

場所 : KKR ホテル仙台

I 総会 (15:00~15:40)

1. 開会宣言
2. 定足数の確認
3. 支部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事録署名人の選任
6. 議事
 - 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告及び収支決算報告について
 - 第 2 号議案 平成 27 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について
 - 第 3 号議案 支部規定の改正について
 - 第 4 号議案 役員交代について
7. その他
8. 閉会

休憩 15:40~15:50

II 平成 26 年度研究委員会の報告 (15:50~16:10)

- 1) 二種専門研究委員会「寒中コンクリートの品質確保に関する研究委員会」
- 2) 二種専門研究委員会「塩害外力の評価方法と評価結果の分析・利活用研究委員会」

III 平成 26 年度日本コンクリート工学協会東北支部表彰 (16:10~17:00)

(1) 選考結果報告

(2) 表彰

(3) 講演

III 懇親会 (17:00~19:00)

第1号議案 平成26年度事業報告及び収支決算報告

(自：平成26年4月1日 至：平成27年3月31日)

1. 会務運営

(1) 総会の開催

- ・平成26年 5月16日(金) 15:00～17:00 於：KKRホテル仙台

(2) 幹事会の開催

- ・平成26年 4月23日(木) 13:30～15:00 於：KKRホテル仙台 会議室
- ・平成26年 11月 6日(木) 18:30～19:30 於：宮城酪農会館ビル 1F 会議室
- ・平成26年 12月 15日(月) 15:00～16:00 於：(株)復建技術コンサルタント
- ・平成27年 3月 12日(木) 15:00～16:00 於：(株)復建技術コンサルタント

(3) 役員会の開催

- ・平成26年 12月 15日(月) 16:10～17:30 於：(株)復建技術コンサルタント
- ・平成27年 3月 12日(木) 16:10～17:30 於：(株)復建技術コンサルタント

(4) 研究委員会の開催

- ・委員会は、随時電子会議で開催。

(5) 表彰委員会の開催

- ・委員会は、随時電子会議で開催

(6) 研修委員会の開催

- ・委員会は、随時電子会議で開催

(7) 講習会運営委員会の開催

- ・委員会は、随時電子会議で開催

(8) ホームページ運用委員会

- ・委員会は、随時電子会議で開催

2. 委員会活動

(1) 研究委員会

会告およびホームページにおいて、二種専門研究委員会（一般研究課題）および三種専門研究委員会（萌芽的研究課題）を公募した。これにより応募のあった 2 件について役員会で審議・採択した。これにより、平成 26 年度は、新規課題 2 件が活動した。研究課題、委員長および活動内容は以下のとおりである。

・新規研究課題

1) 二種専門研究委員会「寒中コンクリートの品質確保に関する研究委員会」

活動期間：2014 年 5 月～2016 年 4 月

委員長：阿波 稔（八戸工業大学）

幹事長：小山田哲也（岩手大学）

委員：岩城一郎（日本大学）、徳重英信（秋田大学）、武田三弘（東北学院大学）、子田康弘（日本大学）、迫井裕樹（八戸工業大学）、西脇智哉（東北大学）、権代由範（仙台高専）、大手・中堅ゼネコン、PC 建協東北支部、NEXCO 東日本、地元施工業者、生コンメーカー、混和材料メーカー、行政機関等

研究目的：コンクリート構造物における寒中施工の実態や課題を把握するとともに、寒中コンクリートにより施工された近年のコンクリート構造物の品質調査を実施する。さらに、材料・配合、工事計画、打込み・締固め、養生等、寒中コンクリートの品質を確保するための施工技術と仕組みについて調査研究することを目的とする。

2) 二種専門研究委員会「塩害外力の評価方法と評価結果の分析・利活用研究委員会」

活動期間：2014 年 10 月～2016 年 9 月

委員長：皆川 浩（東北大）

幹事長：上原子晶久（弘前大）

委員：子田康弘（日本大）、迫井裕樹（八戸工大）、西脇智哉（東北大）、宮本慎太郎（東北大）東北地整、東北技術事務所、東北六県道路管理者
曾田信雄・山口恭平（NEXCO 東日本）、早坂洋平（ネクスコ・エンジニアリング東北）
小早川正樹・水木 亨（復建技術コンサルタント）

研究目的：東北地方のコンクリート構造物を対象に、塩害の劣化予測・リスク評価を行う上で重要となる飛来塩分・飛散塩分量の評価方法に関する現状と課題を整理するとともに、東北地方の飛来塩分・飛散塩分量の評価事例の収集と分析を実施し、それらの結果を発信することで、コンクリート構造物の塩害の外力評価に関する知見を共有することを目的とする。

(2) 表彰委員会

1). 支部賞募集および応募

会誌「コンクリート工学」1月号の会告及び支部ホームページを通して支部各賞の募集を行ったところ、論文賞2件、奨励賞1件、作品賞3件の応募があった。

- 論文賞
 - ① エマルジョン処理竹補強材を用いた竹補強セメントモルタルの曲げ性状に及ぼす養生方法の影響
 - ② 凍結融解によって劣化した RC はりのせん断耐力
- 奨励賞
 - ① 供用後 50 年で架替えに至った実道路橋 RC 床版の詳細調査と残存疲労耐久性に関する検討
- 作品賞
 - ① 帰還困難区域における橋梁の建設
 - ② 複合ラーメン橋剛結部の構造合理化
 - ③ 景勝地松島における景観に配慮した鉄道高架橋

2). 審査結果

それぞれの応募について表彰委員会の委員個人での審査結果をもとに、平成 27 年 3 月 12 日の幹事会において、慎重審議を行った。その結果論文賞の①については、現時点では支部論文賞としては基本的なデータが不足しているものの、研究の発想自体大変ユニークであること、今後の実用化に向けた継続的な研究も期待できることなどから、東北支部奨励賞が相応しいと判断した。また、作品賞に応募された①および②については内容から作品賞より技術賞に相応しいものと判断した。その他の応募はそれぞれの賞に相応しいものと判断した。

これらの結果を同日に開催された役員会に報告し承認された。

3). 功労賞

功労賞については推薦がなく、今年度は対象者なしとした。

4). 表彰対象とその理由

【論文賞】①

題名 「凍結融解によって劣化した RC はりのせん断耐力」

応募者 内藤 英樹（東北大学大学院）

土屋 祐貴（首都高速道路）

八島 宏幸（東北大学大学院）

王 蓓（JFE ステール）

山洞 晃一（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）

古賀 秀幸（オリエンタルコンサルタンツ）

鈴木 基行（東北大学大学院）

選考理由

凍害劣化による RC 梁部材のせん断耐力の低下を実験的に調べるとともに、それらの結果を基に非破壊振動試験を用いての劣化状況の点検方法およびせん断耐力の算定式を提案にしている。これらの結果は社会インフラの維持管理の発展に大いに寄与するものである。以上のことから内藤英樹氏他 6 名に平成 26 年度 JCI 東北支部論文賞を授与いたします。

【奨励賞】①

題名 「エマルジョン処理竹補強材を用いた竹補強セメントモルタルの曲げ性状に及ぼす養生方法の影響」

応募者 齋藤 俊克（日本大学工学部）

選考理由

非構造部材の二次製品を対象に、補強材として竹材を使用するというユニークな研究である。特に竹の表面をエマルジョン処理することによりモルタルとの付着力を改善するなど実用への課題を一つ解決したものである。今後の実用化に向けた継続的な研究が期待できる。以上のことから、齋藤俊克氏に平成 26 年度 JCI 東北支部奨励賞を授与いたします。

【奨励賞】②

題名 「供用後 50 年で架替えに至った実道路橋 RC 床版の詳細調査と残存疲労耐久性に関する研究」

応募者 前島 拓（日本大学大学院）

選考理由

50 年間供用された道路橋の RC 床版について、コンクリートの劣化状況の詳細調査および輪荷重走行装置を用いた疲労試験により残存疲労特性を評価し、当該床版の余寿命推定を行っている。このような研究を続けることで道路橋の適切な維持管理手法の開発が期待できる。以上のことから、前島 拓氏に平成 26 年度 JCI 東北支部奨励賞を授与いたします。

【作品賞】

題名 「景勝地松島における景観に配慮した鉄道高架橋」

応募者 JR 東日本 東北工事事務所

選考理由

本構造物は、東北太平洋地震により被災した JR 仙石線の移設に伴い、松島の景勝地に建設された RC ラーメン高架橋である。周辺の風致景観との調和から 1 柱式壁橋脚を採用するとともに、地震時変形性能を確保するためスパイラル筋の配置を実験により定める等技術的にも工夫がなされている。以上のことから、応募グループに平成 26 年度 JCI 東北支部作品賞を授与致します。

【技術賞】①

題名 「帰還困難区域における橋梁の建設」

応募者 東日本高速道路（株）東北支社 いわき工事事務所
株式会社 I H I インフラシステム

選考理由

福島第一原発事故に伴う帰還困難区域の放射線量の高い場所で、資材の確保・労務管理さらには限られた作業時間の中で、適切に品質を確保するための流動性の高いコンクリートの利用、雨天の作業を確保するためのエアドームの設置などの工夫により、工期を大幅に短縮させて橋梁を完成させたものである。本橋梁の完成により常磐自動車道の早期開通が可能となり、震災後の復興に向けて多大な貢献をしたものである。

以上のことから、応募グループに平成 26 年度 JCI 東北支部技術賞を授与致します。

【技術賞】②

題名 「複合ポータルラーメン橋剛結部の構造合理化」

応募者 東日本高速道路（株）東北支社 仙台工事事務所
高田機工株式会社

選考理由

本橋梁は、ポータルラーメン橋の剛結部分に支圧版方式を開発・採用したものであり、施工性やコンクリート品質の改善を図ったものである。本方式の採用により設計面でも応力集中やひび割れ発生を軽減できる等、従来型の欠点を解決することができた。今後の同種工事への適用も期待できる。以上のことから、応募グループに平成 26 年度 JCI 東北支部技術賞を授与致します。

(3) 研修委員会

1). コンクリート診断士の技術研鑽のための勉強会

第10回『コンクリート診断士の技術研鑽のための勉強会』の企画立案及び開催を下記の通り実施した。

項目	説明
開催日時	平成26年10月30日(木) 13:00~17:20
場所・内容	<p>開催場所：岩手県釜石市周辺</p> <p>内容：「復興道路 国道45号 三陸沿岸道路 釜石山田道路」 見学会</p> <p>(1) 挨拶 宮城県コンクリート診断士会長 東北学院大学 教授 武田 三弘 氏 国道交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所 所長 佐藤 和徳 氏</p> <p>(2) 現場見学</p> <p>1) 復興道路専用公共生コンプラント (ASR対策等、各種試験の予定を説明)</p> <p>2) 鵜住居第二高架橋A2 (補修痕のある橋台、透気係数計測などの状況を説明)</p> <p>3) 水海高架橋、水海トンネル (復興道路の整備状況を説明)</p> <p>4) 大畑団地本線BOX (打ち重ね線のあるBOX、型枠存置54日間、透気係数などの状況を説明)</p>
参加者	受講者 45名

研修当日の様子



(4) 講習会運営委員会

1) 講習会・試験

講習会・試験の事務運営は、コンクリート診断士試験についてはJCI支部事務局と宮城県生コン工業組合と共同で行い、コンクリート技士試験は生コン工業組合主体で実施した。

平成 26 年度 講習会・試験実施 (JCI 東北支部管轄)

名称	日時	会場	管理者	運営分担
コンクリート 診断士講習会	4月10日(水) 4月11日(木)	仙台国際センター	統括：武田三弘 (2年目)	JCI 東北支部・ 生コン工組共同運営
コンクリート 診断士試験	7月27日(日)	東北工業大学 (八木山キャンパス)		責任者：鈴木正志 補佐：眞山芳恵

*次期統括予定者(平成 27 年度) 堀則男

平成 26 年度 試験実施 (JCI 本部管轄)

コンクリート 技士試験・ コンクリート 主任技士試験	11月30日(日)	東北工業大学 (八木山キャンパス)	統括：北辻政文 (1年目) 統括補佐： 松村光太郎 (1年目)	生コン工組運営 責任者：鈴木正志 補佐：眞山芳恵
-------------------------------------	-----------	----------------------	---	--------------------------------

*次々期(平成 28 年度)統括予定者 松村光太郎

2) 月刊誌「コンクリート工学」への執筆推薦

今年度は推薦依頼がありませんでした。

(5) ホームページ運用委員会

6月と12月の年2回定期的にHP全体のチェックを行うとともに、適宜最新の情報をホームページにアップロードしている。

URL : http://www.jci-net.or.jp/~branchi_tohoku/index.html

3. 収支決算報告

JCI東北支部 平成26年度 収支決算(見込み)

(自平成26年 4月1日 ~ 至平成27年 3月31日)

(1) 収入の部

(円)

項目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A-B)	摘要
H25年度からの繰越金	1,214,687	1,214,687	0	
交付金	1,591,160	1,591,160	0	正会員 421人 学生会員 23人 団体会員 22社
講演会等収益	0	0	0	
研修委員会事業	100,000	216,000	-116,000	コンクリート診断士の技術研鑽勉強会
本部業務援助報酬	600,000	645,200	-45,200	コンクリート診断士講習会業務援助
懇親会参加費収益	90,000	69,000	21,000	総会懇親会参加費
雑収入	0	0	0	
利子	200	451	-251	
合計	3,596,047	(ア) 3,736,498	-140,451	

(2) 支出の部

(円)

大科目	中科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A-B)	摘要
事業費	専門研究委員会	600,000	273,868	326,132	
	講演会等事業	200,000	0	200,000	
	研修委員会事業	500,000	319,006	180,994	コンクリート診断士の技術研鑽勉強会
	表彰事業	100,000	66,828	33,172	
	本部業務援助	480,000	516,160	-36,160	コンクリート診断士講習会業務援助
	小計	1,880,000	1,175,862	704,138	
管理費	総会費	400,000	258,600	141,400	
	役員会費	100,000	79,530	79,530	幹事会・役員会
	表彰委員会費	100,000	0	100,000	
	講習会運営委員会	100,000	0	100,000	
	旅費交通費	300,000	130,540	169,460	
	通信費	5,000	14,654	-9,654	
	慶弔見舞い金	0	0	0	
	事務委託費	518,400	518,400	0	
	雑費	5,000	6,156	-1,156	振込み手数料・雑費
	小計	1,528,400	1,007,880	520,520	
予備費	187,647		187,647		
合計	3,596,047	(イ) 2,183,742	1,412,305		

(3) 決算の部


(円)

項目	金額(円)	摘要
収入	3,736,498	(ア) 収入合計
支出	2,183,742	(イ) 支出合計
平成27年度への繰越金	1,552,756	

【会計監査報告】

平成27年 5 月 12 日 監査を致しました結果、その収支は厳正かつ妥当であると認めます。

会計監査

松川 欣司 

第2号議案 平成27年度事業計画（案）及び収支予算（案）

（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

1. 会務運営

(1) 総会

・平成27年5月20日（水）15：00～19：00 於：KKRホテル仙台

(2) 支部幹事会

・平成26年4月23日（木）13：30～15：00 於：（株）復建技術コンサルタント
他2回開催予定

(3) 支部役員会

・2回開催予定

(4) 研究委員会

・随時電子会議により開催

(5) 表彰委員会

・随時電子会議により開催

(6) 講習会運営委員会

・随時電子会議により開催

(7) 研修委員会

・随時電子会議により開催

(8) ホームページ運用委員会

・随時電子会議により開催

2. 委員会活動

(1) 研究委員会

平成26年度に応募があった2件の研究課題について継続課題として活動を行う。また平成27年度も継続して研究課題を公募する。

継続課題

1) 東北地方における寒中コンクリートの品質確保に関する調査研究（2014年5月～2016年4月）

委員長：阿波稔（八戸工業大学教授） 幹事長：小山田哲也（岩手大学准教授）

2) 塩害外力の評価方法と評価結果の分析・利活用研究委員会（2014年10月～2016年9月）

委員長：皆川浩（東北大学准教授） 幹事長：上原子晶久（弘前大学准教授）

(2) 表彰委員会

日本コンクリート工学会東北支部表彰規約（内規）に基づき、論文賞・技術賞・功労賞・奨励賞・作品賞の対象者を募集し、優秀な作品や功績のあった会員に対して表彰する。

(3) 研修委員会

第11回『コンクリート診断士の技術研鑽のための勉強会』の開催を検討する。

・ワーキンググループの開催

未定

(4) 講習会運営委員会

講習会・試験の事務運営は、コンクリート診断士試験については JCI 支部事務局と宮城県生コン工業組合と共同で行い、コンクリート技士関連は生コン工業組合にお願いする。また、月刊誌「コンクリート工学」への執筆推薦に協力する。

平成 27 年度 講習会・試験実施予定 (JCI 東北支部管轄)

名称	日時	会場	管理者	運営分担
コンクリート 診断士講習会	4月13日(月) 4月14日(火)	仙台国際センター	統括：堀則男 (1年目)	JCI 東北支部・ 生コン工組共同運営
コンクリート 診断士試験	7月26日(日)	東北学院大学 (土樋キャンパス)		責任者：鈴木正志 補佐：眞山芳恵

平成 26 年度 試験実施予定 (JCI 本部管轄)

コンクリート 技士試験・ コンクリート 主任技士試験	11月29日(日)	東北学院大学 (土樋キャンパス)	統括：北辻政文 (2年目) 統括補佐： 松村光太郎 (2年目)	生コン工組運営 責任者：鈴木正志 補佐：眞山芳恵
-------------------------------------	-----------	---------------------	---	--------------------------------

*次々期(平成 28 年度)統括予定者 松村光太郎

(5) ホームページ運用委員会

会員・非会員向けの支部活動の情報を発信するため、講習会・各種試験・勉強会などの情報について随時ホームページに掲載を行う。各研究委員会と連携し、研究委員会ごとのHPにおいて情報発信を行う。

情報が古いままとならないように、6月と12月に重点的にホームページの更新を行うものとする。

3. 平成27年度 収支予算(案)

(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(1) 収入の部

項目	予算額	昨年度予算	昨年度決算	予算増減	
繰越金	1,552,540	1,214,687	1,214,687	337,853	
交付金	1,600,000	1,500,000	1,591,160	100,000	
講演会等収益	0	0	0	0	
研修委員会事業	135,000	100,000	216,000	35,000	診断士の技術研鑽勉強会(30名)
本部業務援助報酬	600,000	600,000	645,200	0	コンクリート診断士講習会業務援助
懇親会参加費収益	70,000	90,000	69,000	-20,000	
雑収入	0	0	0	0	
利子	200	200	451	0	
合計	3,957,740	3,504,887	3,736,498	452,853	

(2) 支出の部

大科目	中科目	予算額	昨年度予算	昨年度決算	予算増減	摘要
事業費	専門研究委員会	900,000	600,000	274,084	300,000	専門研究委員会 継続2新規1
	講演会等事業	400,000	200,000	0	200,000	支部20周年記念事業
	研修委員会事業	500,000	500,000	319,006	0	コンクリート診断士の技術研鑽勉強会、他講習会1
	表彰事業	150,000	100,000	66,828	50,000	功労賞表彰を勘案
	本部業務援助	480,000	480,000	516,160	0	コンクリート診断士講習会業務援助
	小計	2,430,000	1,880,000	1,176,078		
管理費	総会費	400,000	400,000	258,600	0	
	役員会費	300,000	100,000	79,530	200,000	
	表彰委員会費		100,000	0	▲ 100,000	役員会費に統合
	講習会運営委員会		100,000	0	▲ 100,000	役員会費に統合
	旅費交通費	200,000	300,000	130,540	▲ 100,000	例年の実績を考慮して減額
	通信費	10,000	5,000	14,654	5,000	例年の実績を考慮して増額
	慶弔見舞い金	0	0	0	0	
	事務委託費	518,400	518,400	518,400	0	40,000円/月+消費税
	雑費	5,000	5,000	6,156	0	
		小計	1,433,400	1,528,400	1,007,880	
予備費		94,340	68,203		26,137	
	合計	3,957,740	3,476,603	2,183,958	481,137	

JCI東北支部 支部規程改正 新旧対比表(1)

項目	東北支部(現行規定)	東北支部(新規定案)	備考
1. 目的	<p>第1条 公益社団法人日本コンクリート工学会(以下「学会」という。)定款(以下「定款」という。)第51条の定めにより設置する東北支部(以下「支部」という。)の運営に関しては、学会規則(以下「規則」という。)第35条の規定により、定款及び規則に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。</p>	<p>変更なし</p>	
2. 支部会員	<p>第2条 支部は原則として定款第51条別表に定める地区に在職する会員をもって組織する。ただし、非在職者にあつては、原則として同地区内に在在する会員、また、学生会員にあつては、同地区内に所在する学校に通学する会員とする。</p>	<p>変更なし</p>	
3. 事業	<p>第3条 支部は、定款第51条別表に定める地区内に於いて、定款第4条に定める学会の事業のうち次の事業を行なう。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) コンクリートに関する調査研究 (2) コンクリートに関する研究成果の普及 (3) 研究報告及び資料の刊行 (4) 講演会、講習会及び研究会の開催 (5) 情報の収集、紹介及び交換 (6) コンクリートに関する表彰、奨励 (7) コンクリートに関する啓発及び広報活動 (8) 国内外のコンクリートに関する組織への参加及びその活動に対する協力 (9) コンクリートに関する技術向上をはかるための資格付与と教育 (10) その他本学会の目的を達成するために必要な事業 	<p>変更なし</p>	
4. 支部役員	<p>第4条 支部に次の役員を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 支部長 1名 (2) 幹事長 1名 (3) 幹事 10名以内 (4) 常任委員 40名以内 (5) 支部監事 2名 	<p>変更なし</p>	

JCI東北支部 支部規程改正 新旧対比表(2)

項目	東北支部(現行規定)	東北支部(新規定案)	備考
5. 支部役員 の選出	<p>第5条 支部長は、規則第34条第2項の規定に基づき、支部に所属する会員から支部役員会で候補者を選出し、支部総会の決議を得て理事会で選任する。</p> <p>2、幹事長、幹事、常任委員及び支部監事は支部役員会で候補者として推薦され、支部総会で選任する。</p> <p>3、支部長が欠けたときは、補充者を選任する。この場合、その選任については第1項の規定による。</p> <p>4、支部長以外の支部役員が欠けたときは、補充者を支部役員会で選任することができる。</p>	<p>第5条 支部長は、規則第34条第2項の規定に基づき、支部に所属する会員から支部役員会で候補者を選出し、支部総会で選任の上、理事会で承認する。</p> <p>2、幹事長、幹事、常任委員及び支部監事は支部役員会で候補者として推薦され、支部総会で選任する。</p> <p>3、支部長が欠けたときは、補充者を選任する。この場合、その選任については第1項の規定による。</p> <p>4、支部長以外の支部役員が欠けたときは、補充者を支部役員会で選任することができる。</p>	<p>本部から支部への指示事項</p>
6. 支部役員 の任期	<p>第6条 支部役員の任期は、原則として2年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(1) 支部長 2年</p> <p>(2) 幹事長 2年</p> <p>(3) 幹事 2年</p> <p>(4) 常任委員 2年</p> <p>(5) 支部監事 2年</p> <p>2、任期の始期は、支部総会の翌日からとする。ただし、任期満了後でも、後任者が就任するまでは、その職務を行なわなければならない。</p> <p>3、前条第3項及び第4項に基づき選任された補充者の任期は、前任者の残余の期間とする。</p>	<p>変更なし</p>	<p>支部監事については、他支部との整合を考慮し、現行どおり。</p>
7. 支部役員 の職務	<p>第7条 支部役員は次の職務を行う。</p> <p>(1) 支部長 支部を代表し、支部会務を総括する。</p> <p>(2) 幹事長 幹事会を取りまとめ、支部長に事故あるときは、その職務を代行する。</p> <p>(3) 幹事 幹事会を構成し、支部長及び幹事長を補佐する。</p> <p>(4) 常任委員 支部役員会を構成し、第10条に定める事項について決議するとともに、支部会務を処理する。</p> <p>(5) 支部監事 支部の役員職務執行並びに会計を監査し、その結果を支部役員会及び支部総会に報告する。</p>	<p>変更なし</p>	<p>同上</p>
8. 顧問	<p>第8条 支部に顧問を置くことができる。顧問は、支部役員会に出席し、支部運営について意見を述べることができる。</p> <p>2、顧問の任期は、原則として2年とし、再任を妨げない。</p> <p>3、顧問は支部役員会で選任する。</p>	<p>変更なし</p>	

JCI東北支部 支部規程改正 新旧対比表(3)

項目	東北支部(現行規定)	東北支部(新規定案)	備考
9. 支部総会	<p>第9条 支部長は、毎年度社員総会前に支部総会を招集し、また、必要に応じ臨時支部総会を招集する。</p> <p>2、支部総会は次の事項について決議する。</p> <p>(1) 支部の事業報告及び収支決算</p> <p>(2) 支部の規程類の制定及び改廃。</p> <p>但し、支部規程の改廃は第15条に定める手続きによる。</p> <p>(3) 支部長候補者の選出</p> <p>(4) 幹事長、幹事、常任委員及び支部監事の選任</p> <p>(5) その他支部役員会で必要と認めた事項</p> <p>3、支部総会は、支部会員の10分の1以上の出席によって成立する。ただし、支部総会に出席できない会員は、書面をもって他の出席会員に委任することができる。</p> <p>4、支部総会の議事は、出席会員の過半数で決議する。</p>	<p>第9条 支部長は、毎年度社員総会前に支部総会を招集し、また、必要に応じ臨時支部総会を招集する。</p> <p>2、支部総会は次の事項について決議する。</p> <p>(1) 支部の規程類の制定及び改廃。</p> <p>但し、支部規程の改廃は第15条に定める手続きによる。</p> <p>(2) 支部長候補者の選出</p> <p>(3) 幹事長、幹事、常任委員及び支部監事の選任</p> <p>(4) その他支部役員会で必要と認めた事項</p> <p>3、支部総会は、支部会員の10分の1以上の出席によって成立する。ただし、支部総会に出席できない会員は、書面をもって他の出席会員に委任することができる。</p> <p>4、支部総会の議事は、出席会員の過半数で決議する。</p>	<p>現行規定「(1) 支部の事業報告および収支決算」は、支部の決議事項から削除</p>
10. 支部役員会	<p>第10条 支部長は幹事会及び支部役員会を招集し、会の議長となる。</p> <p>2、幹事会及び支部役員会は次の事項について決議する。</p> <p>(1) 支部の事業計画及び収支予算</p> <p>(2) 支部の事業報告案及び収支決算案</p> <p>(3) 支部の規程類の制定案及び改廃案</p> <p>(4) 支部役員候補者の選出</p> <p>(5) 支部選出選挙管理委員の選任</p> <p>(6) 代議員選挙規則に基づく代議員候補者の推薦</p> <p>(7) その他支部運営に必要な事項</p> <p>3、幹事会及び支部役員会は、各会構成役員総数の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で議決する。ただし、委任状を提出したのものについては、出席者とみなす。</p>	<p>第10条 支部長は幹事会及び支部役員会を招集し、会の議長となる。</p> <p>2、幹事会及び支部役員会は次の事項について決議する。</p> <p>(1) 支部の事業計画及び収支予算</p> <p>(2) 支部の事業報告案及び収支決算案</p> <p>(3) 支部の規程類の制定案及び改廃案</p> <p>(4) 支部役員候補者の選任</p> <p>(5) 支部選出選挙管理委員の選任</p> <p>(6) 代議員選挙規則に基づく代議員候補者の推薦</p> <p>(7) その他支部運営に必要な事項</p> <p>3、幹事会及び支部役員会は、各会構成役員総数の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で議決する。ただし、委任状を提出したのものについては、出席者とみなす。</p>	<p>5条の変更に伴い、こちらも変更</p>
11. 支部委員会	<p>第11条 第3条の事業を行なうため、必要があるときは支部に委員会を設けることができる。</p> <p>2、支部委員会の委員長は、支部役員会に出席し、意見を述べることができる。</p>	<p>変更なし</p>	

JCI東北支部 支部規程改正 新旧対比表(4)

項目	東北支部(現行規定)	東北支部(新規定案)	備考
12. 事務局 および 職員	<p>第12条 支部会務を遂行するため支部に事務局を設ける。</p> <p>2、事務局業務は、外部に委託する。委託先には、支部出納管理者を特定させて、その氏名を届けさせるものとする。</p> <p>3、支部出納管理者並びに職員は、支部役員会で選任する。</p> <p>4、前項の支部出納管理者は、規則第40条の規定により、理事会の承認を得るものとする。</p>	変更なし	
13. 支部会計	<p>第13条 支部の経費としては、本部からの交付金、行事参加費、その他を充てる。</p> <p>2、会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。</p> <p>3、支部会計は支部監事の会計監査を受けなければならない。</p>	<p>第13条 支部の経費としては、本部からの交付金、行事参加費、その他を充てる。</p> <p>2、会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。</p>	会計監査は本部で行うため、支部会計の項目から削除
14. 報告	<p>第14条 支部は、毎年2月末日までに翌事業年度分の事業計画及び収支予算を会長に報告する。</p> <p>2、支部は、支部総会終了後速やかに前事業年度の事業及び決算の報告並びに財産目録を会長に報告する。</p> <p>3、支部は、毎月所定の様式により、資金の出納実績を本部へ報告する。</p>	変更なし	
15. 規程の 改廃	<p>第15条 この規程は、支部総会の決議を経て、規則第35条の規程により、理事会の承認を得て改廃することができる。</p>	変更なし	
その他	<p>平成7年10月4日制定</p> <p>平成10年7月3日改正</p> <p>平成11年6月4日改正</p> <p>平成16年5月21日改正</p> <p>平成17年6月3日改正</p> <p>平成18年5月30日改正</p> <p>平成21年5月29日改正</p> <p>平成23年5月23日改正</p>	<p>平成7年10月4日制定</p> <p>平成10年7月3日改正</p> <p>平成11年6月4日改正</p> <p>平成16年5月21日改正</p> <p>平成17年6月3日改正</p> <p>平成18年5月30日改正</p> <p>平成21年5月29日改正</p> <p>平成23年5月23日改正</p> <p>平成27年5月20日改正</p>	改正日の追加

第4号議案 支部役員の交代について

平成27・28年度 J C I 東北支部役員 名簿 (案)

平成27年5月20日より

	氏 名	勤 務 先	
	支部長		1名
※	前田 匡樹	東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 教授	
	幹事長		1名
※	久田 真	東北大学大学院工学研究科 土木工学専攻 教授	
	幹 事		10名
	阿部 裕彰	鹿島建設(株) 東北支店	
	石川 雅美	東北学院大学 工学部 環境建設工学科 教授	
	岩城 一郎	日本大学 工学部 土木工学科 教授	
	岩淵 慎一	宮城県生コンクリート工業組合	
※	尾形 芳博	東北電力(株)土木建築部	
	奈良 裕	青森県コンクリート診断士会	
※	西脇 智哉	東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 准教授	
新	堀 則男	東北工業大学 工学部建築学科 准教授	
	安田 吾郎	国土交通省東北地方整備局 企画部長	
	万木 正弘	弘前大学 農学生命科学部 地域環境工学科 非常勤講師	
	常任委員		18名
	阿波 稔	八戸工業大学 工学部 土木建築工学科 教授	
	磯上 秀一	福島県生コンクリート工業組合	
	市川 成勝	オリエンタル白石(株)東北支店 施工・技術部	
	遠藤 敏雄	(株)復建技術コンサルタント	
※	大沼 正昭	東北工業大学 工学部 建築学科 教授	
	折原 清告	山形県生コンクリート工業組合	
新	菅野 秀人	秋田県立大学 システム科学技術学部建築環境システム学科 准教授	
	北辻 政文	宮城大学食産業学部環境システム学科 教授	
	小出 英夫	東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科 教授	
	近藤 克巳	清水建設(株) 東北支店 土木技術部	
	武田 三弘	東北学院大学 工学部 環境建設工学科 教授	
	袴田 豊	岩手県生コンクリート工業組合	
	橋本 幸一	秋田県生コンクリート工業組合技術研修センター	
	羽原 俊祐	岩手大学 工学部 社会環境工学科 教授	
	松村 光太郎	宮城学院女子大学 学芸学部 生活文化デザイン学科 准教授	
	三上 重道	青森県生コンクリート工業組合	
	緑川 猛彦	福島工業高等専門学校 建設環境工学科 教授	
	山田 金喜	東日本高速道路株式会社 東北支社 技術部	
	支部監査		2名
	松川 欣司	BASFジャパン株式会社 東北エリア	
交	千葉 博英	宇部三菱セメント株式会社	
	本部理事		1名
※	前田 匡樹	東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 教授	
	顧 問		8名
	井上 範夫	東北大学 名誉教授	
	大塚 浩司	学校法人東北学院 常任理事	
	田中 礼治	東北工業大学 名誉教授	
	三浦 尚	東北大学 名誉教授	
	三橋 博三	東北大学 名誉教授	
	鈴木 基行	東北大学大学院工学研究科 土木工学専攻 教授	
	月永 洋一	八戸工業大学工学部土木建築工学科 教授	
※	遠藤 孝夫	東北学院大学 工学部 環境建設工学科 教授	
	事務局		
	飯土井 剛	(株)復建技術コンサルタント 保全技術部	
	鈴木 秀寿	(株)復建技術コンサルタント 構造技術部	
	金 貴之	(株)復建技術コンサルタント 総務人事部	

※：役割変更 新：新役員 交：異動等により交代

平成27・28年度 JCI東北支部専門委員会委員名簿（案）

平成27年 5月20日より

専門委員会	研究委員会	研修委員会	表彰委員会
委員長	石川 雅美	久田 真	万木 正弘
副委員長		奈良 裕	西脇 智哉
委員	阿波 稔	岩淵 慎一	奈良 裕
	松村 光太郎	袴田 豊	岩城 一郎
		磯上 秀一	近藤 克巳
		橋本 幸一	羽原 俊祐
		折原 清告	緑川 猛彦
		近藤 克巳	
		千葉 博英	
		阿波 稔	

専門委員会	講習会運営委員会	HP運用委員会	
委員長	堀 則男	岩城 一郎	
副委員長	岩淵 慎一		
委員	北辻 政文	金 貴之	
	松村 光太郎	皆川 浩	
		内藤 英樹	